

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
保育・教職実践演習（幼稚園）	2	後期	演習	2	中池順子
○ 授業の到達目標及びテーマ (1) 教育に対する使命感や情熱を持ち、子どもから学び、共に成長しようとする姿勢が身についている。 (2) 教員としての職責や義務の自覚に基づき、目的や状況に応じた適切な行動をとることができる。 (3) 子どもに対して公平かつ受容的な態度で接し、豊かな人間的交流を行うことができる。 (4) 保育者として必要な知識や技能が身についている。					
○ 授業の概要 この科目は、これまで学んだことを確認しながら、現地調査（フィールドワーク）、ロールプレイング・事例研究・グループ討議・ICTを活用した活動等の取り組みを通して、保育者としての資質向上と自己の保育観の確立を目指す。					
○ 授業計画 第1回：オリエンテーション・履修カルテについて 【事前学修】シラバスを確認して授業の概要を理解する 【事後学修】本科目の目的・内容を理解し、これまでの学びを振り返る 第2回：幼稚園教諭の仕事とやりがいについて学ぶ 【事前学修】保育士と幼稚園教諭の違いを調べ学習する 【事後学修】授業で取り扱った内容をまとめる 第3回：近年の保育・幼児教育の動向を知る（新聞記事から取り上げグループ討議） 【事前学修】保育・幼児教育の抱える問題点について調べ学習をする 【事後学修】授業で取り扱った内容をまとめる 第4回：近年の保育・幼児教育の動向（グループごとのテーマ／例：待機児童、発達の子になる子どもへの支援他）について考える 【事前学修】本時で取り扱うテーマについて考える 【事後学修】授業で取り扱った内容をまとめる 第5回：近年の保育・幼児教育の動向についてまとめ（ポスタープレゼンテーション） 【事前学修】ポスタープレゼンテーションの発表の準備を行う 【事後学修】授業で取り扱った内容について感じたことをまとめる 第6回：パネルシアター①いくつかの映像や作品を見て手法を学ぶ 【事前学修】事前にパネルシアターの映像を見ておく 【事後学修】製作する作品、ストーリーについて内容をまとめる 第7回：パネルシアター②グループごとの製作 【事前学修】製作に必要な資料、材料をそろえる 【事後学修】次週の発表に向けて練習をする 第8回：パネルシアター③作品発表 【事前学修】本時の発表に向けて練習を行う 【事後学修】発表について、評価と改善をまとめる 第9回：壁面製作の手法について 【事前学修】自分の作りたい壁面について考えておく 【事後学修】壁面製作を行う 第10回：壁面製作（春夏秋冬から一つ製作） 【事前学修】壁面製作を行う					

【事後学修】壁面製作を行う

第11回：保育・幼児教育の表現活動①（打楽器の特徴・奏法を知る）

【事前学修】打楽器の名前、特徴について調べ学習を行う

【事後学修】学んだ打楽器についてまとめる

第12回：保育・幼児教育の表現活動②（グループごとに打楽器を使った表現活動を行う）

【事前学修】担当する打楽器の練習を行う

【事後学修】発表について、評価と改善をまとめる

第13回：子どもを取り巻く社会の現状について考える（家族関係や幼稚園・保育所等外部機関）

【事前学修】新聞やSNSで調べ学習を行う

【事後学修】授業で取り扱った内容をまとめる

第14回：子どもを取り巻く社会の現状について考える（グループ討議・グループ発表）

【事前学修】発表の内容についてまとめる

【事後学修】発表について、評価と改善をまとめる

第15回：望ましい保育者とは（まとめ）

【事前学修】望ましい保育者について自分の考えをまとめる

【事後学修】保育者に求められる具体的な資質について、全体を振り返りながらまとめる

※必要に応じてゲストティーチャーを招集する

○ テキスト

必要に応じて資料を配布する

○ 参考書・参考資料等

日本教育新聞（日本教育新聞社）

「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省・フレーベル館

「保育所保育指針解説」（最新版）文部科学省・フレーベル館

「幼保連携認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省

○ 学生に対する評価

全授業を通した学びの過程（出席状況、グループ活動、製作物）40%

履修カルテ 30% 試験またはレポート30%